

**30分で山留・構台 概略設計、5分で仮橋・仮栈橋の 工法比較****2つのシステムを建設DX展にて初公開**

ヒロセ株式会社（江東区東陽、代表取締役社長 下元伸彦）は、建設業界の深刻な人手不足と効率化ニーズに応えるべく、重仮設計画をより速く、正確に、そして簡単に行える2つの革新的システムを開発しました。この新技術により、設計業務の効率化と生産性向上が実現し、これまで多くの時間と専門知識を必要としていたプロセスを大幅に短縮できます。

直感的な操作が可能なインターフェースや3Dモデル自動生成機能を備え、迅速かつ正確な設計と工法比較が可能です。これにより、設計の負担軽減やプロジェクトの進行管理が効率化され、建設現場の人材不足対応を強力にサポートします。

**1. 概略設計がわずか30分「山留・構台 概略設計支援システム」**

「山留・構台 概略設計支援システム」は、山留・構台に特化した新しいWEB設計支援ツールです。スケッチのような操作で2D図面を作成すると3Dモデルが自動生成されます。設計完了までの時間を大幅短縮。作業時間はわずか30分※1で、直感的な操作による数量計上や図面作成が可能です。将来的には、概算見積の取得も対応予定。当社へ依頼すると、社内プログラムと連携し詳細モデルを迅速納品する体制も整備していきます。

※1 規模：山留支保工1段+構台を想定、入力から3D表示までの時間を計測（条件整理の時間は考慮しないものとします）

**2. 工法比較がわずか5分「仮橋・仮栈橋 工法比較支援システム」**

「仮橋・仮栈橋 工法比較支援システム」は、仮橋・仮栈橋の設計から工法比較表の作成までを、効率的に支援するツールです。上部工・下部工を含む複数スパンの概略設計を初めてシステム化し、入力作業を簡略化することで、ユーザー自身で設計結果を迅速に確認できる環境を実現しました。これにより、たった5分※2で設計と比較表の作成が可能となり、業務効率化と生産性向上を大幅に支援します。



※2 規模：工事用栈橋/有効幅員8m/橋長100m/下部工有りを想定、入力から比較表作成までの時間を計測（条件整理の時間は考慮しないものとします）

2024年12月11日 初公開！  
於「建設DX展 東京/JAPAN BUILD TOKYO」

これら2つの「山留・構台 概略設計支援システム」と「仮橋・仮栈橋 工法比較支援システム」は、2024年12月11日から東京ビッグサイトで開催される「第4回建設DX展」にて初公開します。現場で即活用できる最先端技術を、ぜひ直接体感してください。

ヒロセブース（28-28）でお待ちしています。



名称：第4回「建設DX展」東京/ JAPAN BUILD TOKYO

<https://www.japan-build.jp/tokyo/ja-jp.html#/>

会期：2024年12月11日(水)～13(金) 10:00-18:00(最終日は17時迄)

会場：東京ビッグサイト 南展示棟1階 BIMゾーン

ヒロセ株式会社ブース：28-28

入場料：無料 事前登録はこちらから👉



以上

◇お問合せはこちら

ヒロセ株式会社 DX 推進本部 山下洋海・加藤俊 TEL：03-5634-4538